認定がん医療ネットワークナビゲーターの皆様へ

皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、令和５年３月、第４期がん対策推進基本計画が改定されました。その中で、相談支援の一層の充実を図るための方策の一つとして社会的人材リソースの活用が提案されています。（添付資料；がん対策推進基本計画抜粋、38 ページ、注釈 57）。この社会人材リソースとは、「関係学会等によるがんの相談支援・情報提供に関する一定の研修を受け、必要に応じ、がん患者やその家族等に対し、拠点病院等の癌相談支援センターを紹介できる地域の人材等が想定される」と注釈がつけられています。まさに、認定がん医療ネットワークナビゲーターのことを指しているものと思われます。がんナビは e-ラーニング、コミュニケーションスキルセミナーや認定見学施設における実地見学などの研修を受け、がんの患者さんを相談支援センターに繋ぐ役割を果たすことを目的として育成されてきました。このようにがんナビの皆様は、国が求める相談支援の更なる充実に資する社会人材リソースと考えられます。是非、これまでの研修を糧に社会に貢献していただきたいと思います。

今回の第４期がん対策推進基本計画では、がんナビの皆さんを国が必要としていることがよくわかりました。そこで、がんナビの認知度を上げ、もっと活用していただくよう、がん診療拠点病院、都道府県がん診療連携協議会、都道府県がん対策推進協議会、実地見学施設に第４期がん対策推進基本計画の内容を紹介するお手紙を差し上げました。今後の皆様のご活躍を期待しております。

日本癌治療学会は更なるがんナビの育成を通して、癌の患者さんへの適切な情報提供に努めてまいります。引き続きご理解、ご協力を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

がん診療連携・認定がん医療ネットワークナビゲーター委員会

委員長　調　憲

がん医療ネットワークナビゲーター広報ワーキンググループ

グループ長　田畑　務

【添付資料】

・第３期および第４期 がん対策推進基本計画

<https://www.jsco.or.jp/Portals/0/3_Kouhou/navi/navishoukai.pdf>

・第4期がん対策推進基本計画抜粋(送付）

<https://www.jsco.or.jp/Portals/0/3_Kouhou/navi/ver4_gan.pdf>